

●審査実施日：令和5年4月16日（日）

●参加団体数及び事業数

チャレンジ部門：1団体・1事業 ○総補助金申請額：100,000円

自立促進部門テーマ型：1団体・1事業 ○総補助金申請額：220,000円

自立促進部門提案型 ：2団体・2事業 ○総補助金申請額：486,000円

●審査結果：チャレンジ部門1事業、自立促進部門テーマ型1事業及び提案型2事業の推薦を決定し、補助金の査定額は下表のとおりです。

●評価部会の審査を踏まえ、令和5年5月12日（金）開催の大阪狭山市市民公益活動促進委員会で審議を経て公表するものです。

■チャレンジ部門

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	大阪狭山防災レンジャー	100,000	100,000	幼児期から災害などについて学ぶことで、防災意識向上の啓発を促す。そのため、親子で参加する救命講習会、防災に関する講話、避難所までの避難路を実際に散歩し、防災マップを作成するなど、親子で防災について学び考える機会をつくる。	期待のできる先駆的な防災減災事業であるため、この事業に対する協力者の募集や他の団体との連携を図り、組織強化に努めてください。また、防災士資格取得の情報宣伝推進をお願いします。
	そなえてまもれプロジェクト				

■自立促進部門テーマ型

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	特定非営利活動法人 南大阪サポートネット	240,000	240,000	《5回目申請事業》 ひきこもりをはじめ、現代社会で生きづらさを抱える若者を対象に農園を居場所として提供し、食を通しての居場所づくり事業「地域食堂」を展開する。当事者と支援者及び地域の人たちとの交流に重点を置き、生きづらさを抱える若者が急増する現実をみんなで考える学習機会を積極的に設け、当事者や当事者家族に向けられる偏見差別をなくすとともに、理解を深める。	事業の継続性に向けて、あらゆる団体との連携について模索いただき、後継者の育成に対する取り組みにも努めてください。
	地域で作る“生きづらい人々の居場所”トビラファーム				

■ 自立促進部門提案型

	申請団体名	申請額 (円)	査定額 (円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	猫ともクラブin大阪狭山	280,000	280,000	所有者のいない猫の問題についての学習機会の提供、そのような猫が多い地域へのアンケート調査、啓発活動や命の教室の実施などにより、人と動物がしあわせに共生できるまちづくりを目指す。	公益に広く資することを心掛け、所有者のいない猫が問題化している地域で、協力団体の参加を求めるなど、多様な価値観を尊重する姿勢に基づく事業運営に努めてください。
	地域猫活動ってにゃんだ？～命にやさしいコミュニティをめざして～				
2	特定非営利活動法人 南大阪サポートネット	206,000	206,000	ひきこもりの若者たちと支援者が、廃油を集めてEM廃油石鹸づくり、その石鹸を使ってもらうことを通して、社会との繋がりを持ち、自分にも社会にも優しい循環のある取組みとして社会に貢献することで、当事者が望む自分らしい生き方の実現を目指す。	廃油石鹸の販売に際しては、商品の安全性を確保するなど十分配慮するよう努めてください。また、製品の情報表示などについても、専門家にアドバイスをいただくなど、その表示内容（使用用途）についても十分注意を払うよう努めてください。
	ひきこもりの若者たちが「EM廃油石鹸」で未来との循環を作る				